

認知症作業療法 活動計画（概要）

- ・佐賀県作業療法士会では、認知症の人の生活支援委員会（協会）の取り組みを発展させる為に、地域包括ケア推進部の中に認知症支援委員会を設置。2019年度に組織作りを行い、12名のメンバーで取り組める体制となった。認知症に関連した研修や派遣事業を通して、会員の資質を向上させ、佐賀県での認知症に対する支援が出来る事を目指している。
- ・佐賀県作業療法士会では県・市町村からの依頼を受け、認知症初期集中支援事業、認知症予防事業、認知症カフェ事業に県士会員を派遣している。

世界アルツハイマー・デーでのイベントの企画

- ・認知症の人と家族の会 佐賀県支部と佐賀県が協力して2018年より佐賀県庁県民ホールで認知症啓発活動を開催されており、県士会員も協力。認知症支援のシンボルカラーであるオレンジにライトアップされる。イベントの挨拶で佐賀県作業療法士会の認知症への取り組みを紹介している。
- ・今年度は、アルツハイマー・デーがWebで開催される為、協力して欲しいと当士会へ依頼があった。



認知症の人と家族の会との連携事業

- ・認知症の人と家族の会 佐賀県支部が主催する認知症カフェが佐賀市、伊万里市、鳥栖市で毎月開催されている為、会員2名を派遣。身体障害領域に勤務する会員も参加しており、身体機能の低下への対応や福祉用具について具体的に説明でき、当事者や家族に好評である。
- ・2019年度「認知症の人の思いに関するアンケート調査」に協力。
- ・佐賀県介護ロボットニーズ・シーズ連携協調協議会の委員に就任して頂き認知症者のパウチセンシングについて助言を頂く。



参加者の集合写真

COVID-19（新型コロナウイルス）の影響・対応など

- ・認知症の人と家族の会 支部の総会が紙面会議になった。
- ・佐賀県から指定管理を受けて運営している佐賀県在宅生活サポートセンターでの研修会も6月までは自粛。
- ・県士会でZoomのプロ契約を行い、Web会議の実施、各研修会の開催に向けた検討を進めている。
- ・認知症カフェは、人数制限や時間短縮など感染予防を徹底し開催している地域がある為、県士会員の派遣協力を行っている。
- ・佐賀県健康福祉部からの委託事業の「認知症ケアに携わる者のリハビリテーション研修会」もリモート研修に切り替えて実施予定。



認知症カフェの様子

佐賀県・市町からの委託事業及び認知症研修

- ・佐賀県健康福祉部からの委託事業「認知症ケアに携わる者のリハビリテーション研修会」では、2016年から、毎年介護従事者向け5回、リハビリテーション従事者向け5回の計10回の研修会を行い、2019年度は延べ541名の受講者であった。
- ・認知症初期集中支援事業に佐賀市と伊万里市よりチーム員推薦依頼があり1～3名を推薦。
- ・鹿島市、江北町より認知症カフェの年6回開催の委託があり毎回5名を派遣。小城市からは認知症カフェ、若年性・軽度認知症サロンへの参加者の評価委託があり3名を派遣している。
- ・認知症アップデート研修を実施し、受講者は33名（2019）。今後は、修了書を発行した県士会員を対象に、認知症エキスパート研修を計画していく予定。